

日本初期写真史

関東編

*History of Early Japanese
Photography: Kantō Region
Images of Japan, 1853–1912*

March 3–May 24, 2020

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

恵比寿ガーデンプレイス内

幕末明治を撮る

令和2年3月3日(火)

5月24日(日)

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

会場：東京都写真美術館 3階展示室

開館時間：10:00–18:00(木・金曜は20:00まで) 入館は閉館時間の30分前まで

休館日：毎週月曜日——ただし、5月4日(月・祝)は開館

観覧料：一般 700円 ほか各種割引あり

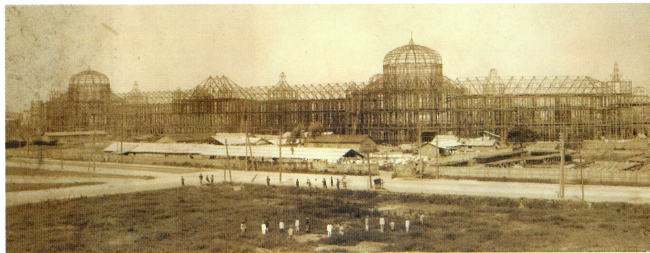
※小学生以下及び都内在住・在学の中学生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。

※第3水曜日は65歳以上無料。

THE FUTURE IS ART
文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL

幕末明治を最る



- 1 世界初の写真術に使われたカメラ
アメリカン・ダゲレオタイプカメラ（ルイス・タイプ）／1850年代初頭／東京都写真美術館
- 2 日本最古の写真館で撮影された肖像写真
《大業尚志》オーリン・フリーマン／万延元（1860）年／アンブロタイプ／沼津市明治史料館蔵
- 3 居留地の写真新聞に掲載された木造時代の日本橋
《日本橋》ミヒヤエル・モーザー／明治5（1872）年／鶏卵紙／日本大学芸術学部蔵
- 4 大正3（1914）年の開業を前に建築が進む東京駅
《開業前の東京駅》宮内幸太郎／明治44（1911）年／ゼラチン・シルバープリント／横須賀市自然・人文博物館蔵

日本における写真文化のセンター的役割を担う東京都写真美術館では、毎春、初期写真に焦点を当てる展示を行っています。

今回の「日本初期写真史 関東編」では、高橋則英氏（日本大学芸術学部写真学科教授）の監修のもと、三部構成で幕末明治期における関東地方の写真文化を紐解きます。一章では歴史を概観し、欧州における写真発祥から日本への輸入や普及するまでの歴史と写真技術を俯瞰します。二章では制作者に焦点をあて、関東地方を訪れたり、

この地を基盤として活動した写真家や写真技術者たちの作品を展覧するとともに、一部六県それぞれで開業した初期の写真家たちも紹介します。最終章では幕末期に制作された肖像写真から建設中の東京駅まで、バラエティに富んだ幕末明治の写真作品を展覧します。

本展は、日本写真の起源に深く関わる関東の初期写真群を一堂に会し、その積層する写真文化を鳥瞰する貴重な機会です。

日本初期写真史連続講座

展覧会を記念して関東地方の初期写真にまつわる講演会を5回連続で開催します。幕末明治の関東地方およびその初期写真の知と理解が深まる講座です。ぜひご参加ください。

会場：東京都写真美術館 2階ロビー特設会場

※直接会場へお越しください。

開場：17:30／開催時間：18:00～19:30（各日とも）

各回定員：50名（先着順／事前予約・整理券なし）

3月6日 | 金「横浜居留地と初期写真」

講師：斎藤多喜夫

横浜外国人居留地研究会会長、横浜開港資料館元調査研究員、『幕末明治 横浜写真館物語』、『幕末・明治の横浜 西洋文化事始め』ほか著書多数

3月20日 | 金・祝「幕末明治の東京～変わりゆく江戸の町並み～」

講師：井桜直美

古写真研究家、日本カメラ博物館研究員「『ペリー提督日本遠征記』を追って：琉球・小笠原諸島：日米和親条約締結 165周年」展ほかを担当

4月3日 | 金「初期写真と関東地方」

講師：三井圭司 本展担当学芸員

4月17日 | 金「横須賀製鉄所と初期写真」

講師：菊地勝広

横須賀市自然・人文博物館学芸員、「すべては製鉄所から始まった Made in Japanの原点」展ほかを担当

5月15日 | 金「幕末明治の写真技術」

講師：高橋則英 日本大学芸術学部教授、日本写真芸術学会会長

アンブロタイプ制作技法デモンストレーション

幕末明治における日本写真技術の特徴であるアンブロタイプ（ガラスに画像を定着する技術）の制作プロセスを見学するデモンストレーション・イベントです。現在では失われた写真技術のプロセスを知る絶好の機会です。

3月14日 | 土 / 5月2日 | 土 内容は各日とも同様

開催時間：14:00～16:30（各日とも）

講師：猪股良文 アトリエ シャデーニュ

会場：東京都写真美術館 1階スタジオ

※直接会場へお越しください。

定員：50名（先着順）

参加費：無料

鶏卵紙着彩ワークショップ

鶏卵紙に手彩色の作品は日本の風俗写真における特徴的な技術です。本ワークショップでは、出品作品のイメージを用いた鶏卵紙のプリントに着色を行うワークショップです。

5月10日 | 日

開催時間：14:00～17:30

講師：三木麻里 写真修復師

会場：東京都写真美術館 1階スタジオ

定員：20名（予約制）

参加費：2,000円（消費税込）

※メールにて事前募集を行います。申し込み方法など詳細は、ホームページ（<http://www.topmuseum.jp>）でご確認ください。

展覧会監修者によるギャラリートーク

初期写真の歴史だけでなく、写真技術に深い知識と実践経験のある本展監修者・高橋則英氏（日本大学芸術学部写真学科教授）による展示解説です。

3月24日 | 火 / 4月7日 | 火 / 5月5日 | 火・祝

開催時間：16:00～17:00（各日とも）

展覧会チケット（当日印）をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

担当学芸員が展示作品をわかりやすく解説します。

展覧会期間中の毎週金曜日

開催時間：16:00～17:00（各日とも）

展覧会チケット（当日印）をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

Gallery Tours in English

As a special service for this exhibition, there will be three guided tours of the gallery conducted in English. The lecturer is Alice Gordenker, a writer and researcher in Japanese photographic history, who will provide explanation in English while guiding visitors through the exhibition for about an hour. Free with purchase of regular exhibition admission.

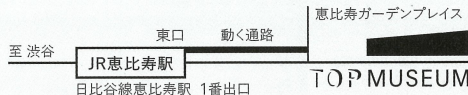
March 19 Thursday 18:00～19:00

April 21 Tuesday 11:00～12:00

May 21 Thursday 16:00～17:00

最新情報はホームページ（<http://www.topmuseum.jp>）をご覧ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



表面：《(相模) 下園蓮枝 慶応4～明治4年頃 (c.1868-71) 鶏卵紙 東京都写真美術館 ※題不詳のため、便宜上名称を与え、() を付してこれを示した。

※事業はやむを得ない事情で変更することがございます。あらかじめご了承ください。

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。

当館には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。